

別紙標準様式（第6条関係）

会議録

会議の名称	令和5年度 第1回 枚方市食育推進計画審議会
開催日時	令和5年7月10日（月） 開始時刻 13時 00分 終了時刻 14時 40分
開催場所	枚方市役所 第3分館 3階 第4会議室
出席者	黒川通典会長、吉本優子副会長、田中和紗委員、 勝麻衣子委員、富田丈滋委員、石川裕子委員、井上努委員 井筒知子委員、末岡妙子委員、山名美奈子委員
欠席者	山中加奈子委員、衣笠真佐美委員
案件名	(1) 第3次枚方市食育推進計画の最終評価（案）及び最終評価報告書（素案）について (2) 第4次枚方市食育推進計画の骨子（案）及び目標項目（案）について (3) その他
提出された資料等の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1：第3次枚方市食育推進計画の最終評価一覧（案）</li> <li>・資料2：第3次枚方市食育推進計画最終評価報告書（素案）</li> <li>・資料3：第4次食育推進基本計画の概要</li> <li>・資料4：第4次枚方市食育推進計画の概要（案）</li> <li>・資料5：第4次枚方市食育推進計画の骨子（案）</li> <li>・資料6：第4次枚方市食育推進計画の目標項目一覧（案）</li> <li>・資料7：今後のスケジュール等（案）</li> <li>・参考資料1-1：「食」に関する市民意識調査結果報告書（案）</li> <li>・参考資料1-2：小中学生の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果報告書（案）（食に関する部分のみ抜粋）</li> <li>・参考資料1-3：「食」に関するアンケート結果報告書（案）（高校生・大学生・専門学校生）</li> <li>・参考資料1-4：小中学校での食育の取り組みに関するアンケ</li> </ul>

	<p>ート結果報告書（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参考資料1－5：保育所（園）・幼稚園・認定こども園・小規模保育施設における食育の取り組み状況アンケート結果報告書（案）</li> <li>・参考資料2：枚方市食育推進計画審議会委員名簿</li> <li>・参考資料3：枚方市関係課職員一覧</li> <li>・別紙：令和5年度第1回 枚方市食育推進計画審議会の案件に係るご意見・ご提案（回答様式）</li> </ul>
決 定 事 項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第3次枚方市食育推進計画の最終評価（案）及び最終評価報告書（素案）について審議した。</li> <li>2. 第4次枚方市食育推進計画の骨子（案）及び目標項目（案）について、今回の意見を基に素案の検討を行い、次回の審議会では第4次枚方市食育推進計画（素案）を示すことを決定した。</li> </ol>
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	0人
所 管 部 署 ( 事 務 局 )	健康福祉部 健康寿命推進室 健康づくり・介護予防課

審 議 内 容	
黒川会長	それでは定刻となりましたので、令和5年度第1回食育推進計画審議会を開会いたします。開会に先立ち、事務局から報告があります。
事務局	本日の審議会は、委員12名中、10名が出席しており、過半数に達しているため、枚方市付属機関条例第5条第3項に基づき、本会議が成立していることを報告いたします。次に、本日の傍聴希望者はございません。
黒川会長	ありがとうございました。本日の案件は2つとなっています。それでは、案件1 第3次枚方市食育推進計画の最終評価（案）及び最終評価報告書（素案）について、事務局から説明をお願いします。

事務局	事務局から案件1について、説明を行った。(資料1、資料2)
黒川会長	ありがとうございました。ただいまの事務局の説明について、ご意見、ご質問がある方はいらっしゃいますか。
末岡委員	<p>食育を考えるうえで歯の健康などは口腔ケアが大切だということ啓発されているように感じるが、食べることとセットになっている「出す」ことに関する視点が抜けているように思います。例えば、食生活の中で発酵食品を食べましょうというのも、胃腸の状態をよく保ち、健康に過ごすためということで腸の健康が一番の健康につながるという考え方があるはずですが、腸の健康こそが大事でそれには「出す」ことが大切だということ食育で謳わなければどこで謳うのかと思いますので、出すことの大切さをどこかに含めればいいのではないかと思います。</p> <p>次に、三食をしっかり食べましょうというときに、前提として自分たちで作ってという形の食育となっています。一方でミールキットや出来上がったもの、半調理のものを買ってきて食べるということが若い世代では主流となってきている。時代が変わってきて様々なことが当たり前のように外注化されていく時代のなかで、食事は買ってくるものだから料理をする習慣がそもそもないという人もいます。日本人として、料理ができないというのは悲しいことだと思うが、これからの食育については、買ってくる場合はバランスよくというなど時代に合わせて、考えたほうがいいのではないかと思います。</p>
黒川会長	ありがとうございます。「出す」ことの大切さや料理をすることの大切さに関するご意見でした。また、幼稚園、保育所などでもどういった教育がされているのだろうかと興味があるところですが、事務局からお願いできますでしょうか。
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。1点目の「出す」ことの重要性につきましては、現計画においてそういった視点が無いというご意見かと思っております。案件2において、次期計画の目標指標についても検討を行いたいと思っておりますので、ご意見いただければと思います。</p> <p>2点目については、委員のおっしゃるとおり、現計画の中間評価にて「中食」の重要性について、訴えてまいりました。しかし、これ</p>

<p>黒川会長</p>	<p>についても計画の中で明確に記載されているものではありません。この後の案件2で次期計画について、詳しく説明させていただきますが、「ライフコースアプローチ」という観点を取り入れさせていただこうと考えています。現代において、多様な生き方がありますので、そういったことも加味しまして、次期計画の中で反映させていただければと思います。</p> <p>ありがとうございました。次期計画の内容に関する部分については、案件2にて検討を行うとのこと。先ほどの事務局からの説明にもあったようにコロナの影響ということで資料33ページにあるように「外食」の割合が激減しており、「中食」が増えつつあるという状況となっています。「中食」に依存する家庭がかなり多いということが読み取れますが、今後、減る傾向というのは見られないわけなので、中食を選ぶ力が今後必要となってくるのかもしれないというふうを考えられます。</p> <p>「出す」ことについても非常に重要かと思いますが、生活リズムや生活習慣といった要素も関連が高いかと思います。腸を動かすためには身体を動かさないといけないということもありますので、他の計画とも連携して総合的な推進が必要になってくるのではないかと思います。</p> <p>最終報告書については、今回が意見を述べられる最後の場となるかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>井筒委員</p>	<p>前回の会議のときに、「C判定のうち大幅な悪化があったものについてD判定を設けられないか」と意見を述べましたが、御検討いただきありがとうございました。</p> <p>今回の優先課題のところを見たときに気になったところがありまして、20代30代のところ。食育の施策について、SNS等を活用した情報発信とありますので、ぜひ、活用していただきたいと思います。コロナ禍を経て、小学生低学年のうちからタブレット等でインターネットに慣れ親しむ機会が増えましたので、次の施策で取り組むべきではないかと思います。様々なSNSがありますが、それぞれユーザー層等に特徴がありますので、どのSNSを利用するかを検討いただければと思います。個人的な意見としては、若い世代にはわかりやすい動画を使っていければいいのではないかと思います。</p>

黒川会長	<p>前回の審議でも情報発信が重要でまだまだ不足しているのではないかと意見もありましたので、今後も様々な形での発信が必要かと思えます。事務局から何かあればお願いします。</p>
事務局	<p>委員のご指摘のとおり、SNS 等の活用については、重要な要素だと考えています。今回のコロナ禍でインターネット等の活用した分野は進んだという側面があります。今回の市民アンケートにおきましても、インターネット回答を取り入れましたが、約 2 割がインターネットによる回答でした。そのような時代の流れもありまして、次期計画では、委員のご意見を反映できればと思います。</p>
末岡委員	<p>情報発信に関して、SNS を活用することは有効だと思うがどうやって見てもらうかがより重要だと思う。たとえば、市は現在「広報ひらかた」は紙ベースのものを作成しているが、それが有効だからという考えがあるからだと思います。他にも学校からのお知らせは保護者宛てに情報を一斉配信できると聞いていますが、届いているからといって見ているかというところでもない。子供たちが持っているタブレット、保護者もチェックしてくれる保護者としていない保護者がいる。この差は歴然としています。これが、子供たちの置かれている状況の差につながり、経験の差につながってきます。本当に、お世話されない子供たちというのはどんどん取り残されていく。宿題の丸つけも親がするというふうには先生方の負担を減らすために。全然構わないのですけれど、そんなチェックなんかするはずのない親、保護者っていますよね。そういう子供たちはどうなっていくのだろうか不安になります。</p> <p>食育においても興味のない層にどうやって情報を届けるか、関心をもってもらえるかが大事なところで、SNS の見出しだけでは解決が難しいと思う。何かお徳感がある情報でないとなかなか若い世代は動きづらいのではないかと思います。</p>
黒川会長	<p>ありがとうございました。今後に向けたご意見が増えてきましたので、案件 2 に移りたいと思います。それでは、案件 2 第 4 次枚方市食育推進計画の骨子（案）及び目標項目（案）について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>案件 2 について、事務局から説明を行った（資料 3、資料 4、資料</p>

<p>黒川会長</p>	<p>5、資料6)</p> <p>ありがとうございました。第4次計画の国の状況とその比較、それと骨子（案）ということで記載する項目について、説明がありました。また、指標については、指標とする項目以外にモニタリング項目を設定するとのことでした。骨子案として情報発信の充実などもありましたが、先ほどの委員の意見も踏まえていただければと思います。</p> <p>それでは、ご意見等ある方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
<p>末岡委員</p>	<p>モニタリング指標4の「子ども食堂等（子どもの居場所づくり推進事業）の開催数の増加」について、私自身が実際に携わっていますが、子ども食堂を利用する子どもたちは、単に欠食児童というわけではなく家庭の問題があったりしますので、直接的な食料配付が重要だと実感しています。昨年から直接食べ物を届ける食料配付事業をやっていますが、コミュニティ単位だとか地域包括支援センター単位くらいで実施が可能だと思いますので、そういった視点で枚方市には動いていただきたいと思ひますし、子ども食堂の数とか開催数に着目するよりかは、そちらを伸ばしていただきたい。</p> <p>やっぱり子どもの頃に飢えたという記憶ではなく、いろんなものを地域の方からもらったという記憶で感謝の気持ちが少しでも、芽生えてくれたらと考えています。</p>
<p>事務局</p>	<p>子ども食堂につきましては、食育の観点から子どもの貧困対策ということだけではなく、子どもの居場所づくりという位置づけで実施されていますので、今回の指標に入れさせていただいています。たしかに貧困対策も食育に含まれる部分もあるかとは思ひますが、食の教育という部分と早期に把握して福祉につなげるという部分をうまくバランスを取って進めていければいいと思ひます。</p>
<p>吉本副会長</p>	<p>子ども食堂に関連したことですが、開催数を増やすことは大事だと思うんですが、開催したときにどのような食育を行うかということが重要だと思います。居場所づくりや食料を提供することももちろん大事ですが、そこに食育を絡めない子どもたちの自己肯定感が芽生えないのではないかとと思ひます。</p>

末岡委員	<p>私が地域で子ども食堂を始めたときの実体験として、提供する側はバランスの良い食事をきっちり食べてもらいたいと思っているのですが、子どもたちは好き嫌いがありました。子ども食堂が自分の居場所になっていかないといけないということで、「好き嫌いしてもオーケー」とした代わりに「ついだものは残さない」という教育にしました。本当は「バランスの良さ」や「地産地消」について、教えてあげたいという気持ちはあるのですが、そこはぐっところえて、「作ってくれた人にありがとうと言おうね」、「きれいに食べて、お皿を布巾で拭いて返す」ということを食育として取り組みました。</p>
黒川会長	<p>ありがとうございました。歯科に関連する項目では「ゆっくり噛んで食べる人の割合」が挙げられていますが、井上委員はご意見ありますでしょうか。</p>
井上委員	<p>ゆっくり噛んで食べるというのは、消化の面で大切だということで新しいことではないのですが、今回、新たに指標 13「低栄養傾向にある高齢者の割合の増加の抑制」が設定されています。高齢者の低栄養状態というのは、介護の面で重要視されてきています。低栄養になることで筋力低下につながり、口腔面では物の噛みにくさや話しづらさ、身体的には外出しづらくなる症状がでてきます。それらが認知症発症のリスクをあげ、発症した場合は進行を早める要因にもなるといったエビデンスも出てきている状況であり、近年重要視されている項目がやっと入ってきたなという印象です。この低栄養状態をフレイルといいます。医科歯科的には非常に重要なものであるということは、ひとつお伝えしたい。</p> <p>また、コロナ禍の影響で真面目に外出を控えていた人ほど認知症の進行が早かったとか、今まで歩くことができていた人が歩けなくなってしまったなどの報告が出てきており、あそこまで行動制限を行ったことはどうだったのだろうかということが医科歯科では言われている。昔ほど新型コロナに毒性がないと言われている中、小中学生向けの事業などコロナ禍の影響で中止となっていたものが以前の状態に回復できるよう背中を押すようなことを市として取り組んでいただければと思います。</p>
黒川会長	<p>ありがとうございました。小学校に関する項目については、石川委員いかがでしょうか。</p>

石川委員	<p>目標項目 18「農業体験に参加したことがある人の割合の増加」が設定されていますが、枚方市の現状として住宅地が増え、農業体験ができる田畑が少なくなってきており、学校としても体験をさせてあげたいのですが、場所がないというのが現状です。毎日の水やりや観察をすることができなくても市内の農家にご協力いただいて1日体験をすることなども考えられるが、各学校で手配をすることは現実的に難しいと思う。そういった農業体験を受け入れていただける農家と小学校をマッチングするような仕組みがあれば、進められると思いますが、実現していくために何か機構や機関を考えないと難しいように思います。</p> <p>郷土料理については、小学校の場合、給食がありますので、おいしい給食課で郷土料理のメニューを作って、給食の時に動画を流すなど教育の中で取り扱うことは可能で今も行っていきます。</p>
黒川会長	<p>富田委員はいかがでしょうか。</p>
富田委員	<p>幼稚園では畑に苗を植えてサツマイモの観察と大根や柿などの収穫をしています。食べるのはご家庭で食べてもらうようにしています。幼稚園ですべて完結してしまうとご家庭を巻き込んだ食育が難しいということで、子どもたちに好きなものを持ちかえり、保護者に見せて一緒に食べてくださいということで取り組んでいる。ただ、やはり農業体験ということで現地へ行って、実際に稲などを植えて育てて収穫までしたいところですが、小学校と同様に協力いただける農家とのマッチングが課題となっている。</p> <p>また、子どもたちの話ですと、朝食を食べていない児童が非常に多く、その理由は保護者が就業されていることや児童のきょうだいが多いということかと思えます。ただ、欠食の児童を体重があまり増えていない傾向が見られ、保護者に朝食を食べているか聞くようにしています。健康観察のところも含めて教育だと思っているのでそういったことを聞いているんですが、朝食の重要性を子どもたちに伝えるのですが、保護者を巻き込みすぎると「無理です」と意見をもらうこともある。できる限りのことは行うのですが、枚方市と一緒に取り組んでいることであれば、保護者の方に対しても説得力が出てきますので、お願いできればと思います。保育園も幼稚園とあまり関りが無いところもあるのですが、同じ幼児を教育する、育てるという立場ですので、枚方市で横の連携を取っていただきながら</p>



黒川会長	ら、進めていただければと思います。
勝委員	<p>勝委員はいかがでしょう。</p> <p>富田委員のおっしゃったとおりですが、保育園も幼稚園も小学校との連携プログラムが枚方市は注目されていると思います。食育の場においても第4次食育推進計画の中で、小学校、幼稚園、保育園と連携して、例えば、同じ地域の小学生、幼児、未就学児と一緒に農業体験を行うというのも一つの案かと思います。</p> <p>あと個人的に思ったことなのですが、災害に対する食料の備蓄を小学校や保育園、幼稚園がしているところですが、例えば、ローリングストックなどは食品ロスの解消にもつながってくるのではないかと思います。私のところの園ですと、乾パンなどを賞味期限が切れる前に給食で出したりしているのですが、なかなか使いきれなくて、おうちに持って帰ってもらったりもしているのですが、もったいないと思うところがありますので、モニタリング等で示すことができればいいのではないかと思います。</p> <p>先ほどの「出す」ことについてですが、保育園では絵本や紙芝居を通じて、食べて「出す」ことは大事なんだよということをお話しさせていただいています。</p>
黒川会長	田中委員、お願いします。
田中委員	<p>私の子どもが通っている小学校では、周りに田畑が多く、お米や大豆づくり、収穫した大豆を使ったお味噌作りやそのお味噌を使ってみんなで調理をして一緒に食べるという経験をさせていただきましたので、とても恵まれた環境にあるなと思っておりました。現在、枚方市PTA協議会で給食委員長を務めており、教育委員会の方との懇談会のために質問書の取りまとめをしています。そのなかでいろんな環境の学校の意見では、農業体験やそういった食べ物を直接見る機会がないとおっしゃっている方や郷土料理に関することを書かれている保護者の方が結構いらっしゃいました。私の子どもが通っている学校では、郷土料理がメニューに組み込まれていますし、オリンピックなどの国際大会の際には、関連する国の料理がメニューに組み込まれていたり、「給食だより」にその国の紹介やメニューの解説、簡単なレシピが掲載されていたりするので、よく目にし</p>

<p>黒川会長</p>	<p>ていたのですが、学校によってはそうでもないようで、そういった情報を知りたいという保護者の方もいらっしゃいました。給食というのは、一番直接的に枚方に住んでいる方に伝わるものだと思いますし、それが保護者の方に伝わって、おうちのメニューで出していただければ、よりたくさんの方に知ってもらえる機会になると思うので、そういったところに力を入れていただければと思います。</p> <p>ありがとうございました。委員の皆さんのお話を聞いていて感じたことなのですが、先日、大学で運動会を開催しました。大学生で運動会に参加する人がどれだけいるのだろうかと思っていたのですが、ほとんどの学生が参加してかなり盛り上がりました。普段、携帯電話等で交流しているような学生たちがこのコロナ禍で失ったもの、何を一番求めていたかというのが「交流」なんですね。学年間交流、上級生や他のクラスの学生と話す。これが学生たちにはたまらなかったみたいで、来年と言わずに半年後にでもやってくれと言っていたくらいです。皆さんのお話の中でコロナ禍により失ったものをコロナ禍前に戻すような施策をというのがありましたけど、この辺りが一番ポイントなのかなと感じています。</p> <p>また、農家とのマッチングや食品ロスにつながりそうな食品がある一方でその食品を必要としている場所がある。ニーズと供給はあるのだが、それがわかっていない。それを解消するために情報共有をしないとイケないのですが、その前段階として交流が必要だなものすごく感じました。市役所に対する要望もたくさん出ましたが、この音頭取りをできるのはやはり市役所になるのかなと感じています。いろんな人がいろんな人と出会う、いろんな人のことを知るといのはとても大切なことだと皆さんの話を聞いて非常に感じたところです。</p> <p>例えば、中高生がフリーマーケットを開催して、その売り上げで子ども食堂の食材提供に使うなどどんどんいろんなことができればいいなと考えたんですね。いろんな人がいろんなことをやっているのですが、それをそれぞれが知ることができればより良い取り組みを行うことができるのではないかと思います、その橋渡しができるのが枚方市だと思いますので、よりすばらしい施策を期待したいと思います。</p>
<p>末岡委員</p>	<p>先ほど勝委員が賞味期限切れの備蓄食品の心配をしておられました</p>

	<p>が、循環型社会推進課がフードドライブという取り組みを行っています。乾パンなどを出されているところもありますし、賞味期限は1か月以上必要ですけど、ご参加いただければいいのかなと思います。</p> <p>あと、「出す」ことについても絵本等を活用して啓発されているとのことですが、一時小学校で男子生徒が個室で利用するとからかわれたりするといことで小便器を撤去して、すべて個室にしたら、苦情により取りやめになったことがあると聞いたことがあります。男子生徒の健康のために個室にしようとする動きであるのにも関わらず、取りやめになるということは、まだまだ「出す」ことに対して意識が低いことなのかなと感じています。現在、トイレの全面改修を行っているところですので、今後どういう風に社会が動いていくかを見て、健康推進という観点から意見を言っていただければと思います。</p>
山名委員	<p>今の話とは少し異なるのですが、ゆっくり食べる大切さを伝えていきたい。今の小学校の様子はわからないのですが、給食の時間に早く食べて早く遊ぼうという元気な子たちには多いと思うのですが、そういった子どもたちにもゆっくり食べるということの大切さを給食の時間に教えていただきたい。</p> <p>事業所職員でもコロナの影響で大勢が職場に集まって昼食を取れないということで、20分交代で食事を取るといった状況もあると思いますが、そういったところでも啓蒙活動していただければと思います。</p>
黒川会長	<p>一点、気になるところがありまして、第3次計画の報告書の最終ページに今後の方向性として「若い世代に重点をおいた食育を推進する」としていますが、この新しい目標に反映されていると考えてよろしいのでしょうか。継続性や連続性という観点から気になりましたので、後程、総括的に事務局から意見をいただければと思います。</p>
末岡委員	<p>若い方というところでちょっと気になったのが、骨量というのは健康に関係してくるところですが、骨量を増やせるのは若い頃だけなので、食育の中でしっかりやっていく必要があると思います。特に女性は50代で骨粗しょう症になる人も出てきますし、若い方への施策として入れていただきたい。</p>

<p>事務局</p>	<p>たくさんのご意見をいただきまして、ありがとうございます。事務局から現在、検討している内容も含めお伝えできればと思います。</p> <p>まず、農業体験については、今回の市政モニターのアンケートにおいて子どもや園児だけではなく、大人に対しても家庭菜園やプランターで農作物を作っていることも含めて回答いただこうと思っています。</p> <p>朝食の欠食については、優先課題とはしていませんが、従前からの課題というのは認識しておりまして、計画の中でも啓発等を重点的に取り組んでいきたいと考えています。また、審議委員からご意見いただきました横のつながりというのを大切にしていきたいと考えています。</p> <p>備蓄については、先ほどフードドライブのご紹介をいただきましたが、現在施行実施という現状なので最終報告書には記載できないということですが、次期計画では記載していく予定としています。</p> <p>また、便を「出す」ことの大切さということで、保育園や幼稚園、学校でも啓発を行っていただいているということですが、第1回の食育カーニバルでの講演会や昨年は人形劇でもその内容をテーマに入れていました。今後も引き続き啓発に努めたいと思います。</p> <p>食育推進にとって一番大切なこと連携や交流とおっしゃっていただきましたが、本市では枚方市食育推進ネットワーク会議という組織を設置・運営していますので、そちらを活用しながら、各団体の連携を図り、推進していきたいと思っています。</p> <p>若い女性に関する部分については、項目12「適正体重を維持している若い女性（20～30歳代）の割合の増加」ということで指標をあげているのですが、高齢者のやせに加え、若い女性のやせを課題としているところで骨に関する部分についても併せて啓発していこうと考えています。</p>
<p>事務局（農業振興課）</p>	<p>委員の皆様、様々なご意見、ありがとうございます。</p> <p>農業振興課では、児童の皆さんに農業に触れていただくということで食農体験事業というものを実施しております。主に小学5年生が中心となっていますが4月に各小学校に希望調査を行い、希望があれば各地域の農業委員などを通じて、農業者を紹介させていただいています。主に水稻、お米が中心ですが、植え付けをしていただいて、秋には収穫をしていただき、学校で試食していただくというような形で体験していただいています。</p>

事務局（おいしい給食課）	<p>それ以外にも農業振興課へご相談いただければ、地域の農業委員、農業者と協議したうえで、提供できる態勢が整えば提供可能ですので、マッチングについてもまずご相談いただければと思います。</p>
	<p>給食の取り組みといたしまして、季節の行事食や枚方の郷土料理、各地の郷土料理といったところについては、積極的に取り組んでいるところであり、喜んで頂けていることがわかり嬉しく思います。また、「給食だより」をご活用いただき、楽しみにしていただいたということも本当にありがたいなと思っております。「給食だより」は栄養教職員が個々に作成しており共同調理場の配送校には共通のものが配付されていると聞いていますので、市内各校で配付されているものと認識しております。ただ、栄養教諭が配属されている小学校とされていない小学校がありますので、より詳しい内容というものがあつたのかもしれないです。</p>
事務局（循環型社会推進課）	<p>フードドライブの話題が出ましたので、簡単にご説明いたします。先ほど事務局からも説明がありましたとおり、試行実施中ではありますが、食品の回収場所として枚方市内に8か所ございます。ひと月の平均として100kg程度回収させていただき、それを市で仕分けを行い、各こども食堂へ配付しています。回収させていただいた食料は、ほぼこども食堂へ配付できている状況です。このような取り組みを行っていますので、ぜひご活用いただければと思います。</p>
黒川会長	<p>ありがとうございました。そのほかに委員から何かございますでしょうか。</p>
末岡委員	<p>くどいようですが、トイレに関して意識改革はたぶん無理なので、ハード改革です。「出す」ことの大切さを今後ちゃんとやっていかないといけないと思うので、強く言っていただきたい。</p>
黒川会長	<p>第4次枚方市食育推進計画について、今後固めていただくこととなりますが、各委員から様々な意見がありましたので、事務局には検討をいただきたいと思っております。</p> <p>それでは、最後に案件3 その他について、事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	今後のスケジュール等について、説明を行った。（資料7）
黒川会長	<p>ありがとうございました。先ほどの事務局からの説明について、ご質問等がありますでしょうか。また、全体を通じてなにかありますでしょうか。</p> <p>ご質問等ないようでしたら、時間となりましたので、令和5年度枚方市食育推進計画審議会を終了いたします。皆さん、ありがとうございました。</p>